

川崎町の資源をいかす会 事務局だより

NPO法人 川崎町の資源をいかす会

第53号 (令和6年 6月発行 不定期)

第18回 通常総会および第2回理事会の報告

新型コロナウイルスが5類に分類されたことにより、日常の生活が戻り総会を開催できるようになりましたが、出席者は少なく20名足らずでした。魅力ある会にするために今後の課題が浮き彫りになりました。

来年度は多くの会員の皆様が顔を合わせて近況報告など懇談できたらと思っております。

理事長は、今後もできることから身の丈に合った活動を長く続けていけるようにしていきたい。また、法人化して20年近くなることを踏まえ、少しずつ若い世代にバトンタッチを図っていきたい。と挨拶しました。



理事長挨拶



会場の様子

*川崎町の資源をいかす会のホームページには多くの写真を貼付してあります

第18回通常総会報告

1 日 時 令和6年5月19日(日) 午前9時30分～11時00分

2 場 所 川崎町公民館 3階ホール

3 総会成立の確認

令和6年3月31日現在の会員数 132名

総会成立に必要な出席者数 $132 \div 3 = 44$ 名(定款第27条)

総会に出席した者の数 19名

委任状により表決権を行使した者の数 80名

合計出席者数 99名 > 44名

よって総会は成立した。

4 議長選出

事務局長が議長選出について諮った結果、事務局一任の声が掛かり、事務局は加藤理事を議長として推薦し、加藤理事が満場一致で議長に選出された。

5 議事録署名人選出および委嘱

議長より、本日の議事の経過を議事録にまとめるに当たり、議事録署名人2名を選任したい旨を諮った結果、大宮忠明氏と菊地重雄氏の2名が満場一致で選任された。

議長は両氏の快諾を受け議事録署名人として委嘱した。

6 審議事項

第1号議案 令和5年度事業報告および収支決算報告 監査報告

第2号議案 令和6年度事業計画(案)および収支予算(案)

第3号議案 役員の改選

その他

7 審議の経過の概要および議決の結果

第1号議案 令和5年度事業報告および収支決算報告

事務局(宮城理事)より、令和5年度の活動について報告された。

令和5年度事業報告

実施した事業の概要説明と、新型コロナウイルスの影響が残り、中止せざるを得なかった一部事業があったものの、概ね実施できた旨の報告があった。

令和5年度収支決算報告

活動計算書のとおり概ね予算どおりであった。

一部、予定外の助成金を受けることができ、新たな活動のスタートができている旨報告があった。

令和5年度監査報告：小島吉雄監事

小島吉雄監事より、「令和6年4月25日、帳簿・証憑書類・現金・預金通帳及び契約書等関係書類を監査した結果、適正に処理されて収支決算報告書・貸借対照表・財産目録に表記されていることを確認した。」との報告があった。

議長は、第1号議案全体について質疑の有無を確認したが質疑は無く、引き続き承認の表決をした結果、満場一致で承認された。

第2号議案 令和6年事業計画および予算案

議長より指名を受け、事務局が事業計画案及び予算案を示し、それぞれ概要を説明した。

議長は、第2号議案全体について質疑の有無を確認したが質疑は無く、引き続き承認の表決をした結果、満場一致で承認された。

第3号議案 理事の改選について

理事選任について、現理事16名の内、山本雅昭理事・菅野則明理事・大村正美理事の3氏は退任の申し出があり、残る12名の理事は再任の意思を示していることが事務局より報告された。また議場から、新理事に濱田毅氏・高橋信策氏・中村剛博氏・柏秀幸氏の4名の推薦があった。

続いて議長は、監事選任について議場に諮った結果、鹿野記市氏と小島吉雄氏の再任については事務局より打診し内諾を得ている旨が報告された。

議長は、以上の内容を議場に諮った結果、満場一致で承認された。

よって、令和6年及び7年度の理事は表.1のとおり、理事17名、監事2名となった。

表.1 新理事一覧

理 事						監 事	
齋藤勝廣	再任	小笠原規夫	再任	濱田 毅	新任	鹿野記市	再任
大宮忠明	再任	川崎清次	再任	高橋信策	新任	小島吉雄	再任
加藤 涉	再任	米澤光秀	再任	中村剛博	新任		
菊地重雄	再任	宮川卓士	再任	柏 秀幸	新任		
桜台清志	再任	舩 昌汰	再任				
新野紘三	再任	宮城加代子	再任				
立岡 学	再任						

被選任者は就任することを承諾いたしました。

その他

議長は、全般に意見や質問を求めたが発言者なく、議長はこれで一切の審議を終えたことを宣言し、議長席を退席した。

第18回通常総会終了後、参加者の自己紹介等を行い散会となりました。

第2回理事会議事内容

総会終了後、令和6年度第2回理事会を開催して、決定した内容について、また、日程が未確定であった各活動については結果、下記の通り日程の決まったものを報告します、

役員を選任

第14条 理事及び監事は、総会において選任する。

2 理事長及び副理事長は、理事の互選とする。

定款第14条の2の規定に基づき理事会に諮った結果

理事長に齋藤勝廣氏（再任）、副理事長に加藤涉氏（再任）と舩昌汰氏（新任）が選任された。

令和6年度活動予定の日程

ドングリの森見学会（萌芽更新見学会）	5月4日（土）
木工旋盤による見学会	5月19日（日）
釜房ダム周辺の清掃活動	6月1日（土）
桜並木のツル切りと下草刈り	8月3日（土）・4日（日）
水源地探訪体験	10月ごろ
広葉樹林の作業体験事業	11月
木工旋盤による講習会	随時
原木キノコの植菌体験事業	12月7日（土）
水車による粉挽きとそば打ち体験	未定
原木キノコの植菌体験事業	2月1日（土）

詳細についてはHPで詳細を掲載しますが、郵送で希望の方は事前に事務局まで申し出てください。

川崎—仙台薪ストーブの会の活動について

川崎—仙台薪ストーブの会では、会員の声により活動日に変更がありました。今年度から定例会は第3日曜日その他の作業日は第2・第4土曜日と第1日曜日となります。

定例会はこれまで通り腹帯集会所に午前9時30分に集合し、打ち合わせ後、活動を行います。定例会では興味のある方を対象に木工旋盤の使い方なども練習し、器作りや、樹木との楽しい関りも行ってきたいと思います。

定例会参加には午前のみ参加者は1時間・午後のみ参加者は2時間・1日参加者は3時間として薪または玉切り材と交換できます。現地活動は午後3時で終了とします。昼食・飲み物等は持参し、作業のしやすい服装で参加してください。

各活動に参加の際は必ず事務局まで連絡ください。定例行事等に**変更がある場合は参加連絡者のみにお知らせします。**

その他の活動日は現地に直接午前9時30分に集合してください。なお、参加者の代表は作業報告を提出してください。また、作業内容はあくまでも予定なので天候の都合で変更になる場合があります。作業内容は当日担当者から説明します。

いかす会の活動は自己責任で行うことになっています。「NPO法人川崎町の資源をいかす会」としては事故等について一切責任を負うことは出来ません。怪我などには十分注意して活動にご参加下さい。なお、青根リゾート管理事務所にはこの日程で届け出をしております。私有地のため、この日程以外で出入りする場合は変更届が必要ですので勝手に入らないようにお願いします。薪を購入する場合は活動日に引き取りに来て、担当者に薪の量を確認してもらってください。



令和6年度 「川崎—仙台薪ストーブの会」年間予定表

月	日	定例会		活動日		
		活動内容	集合場所・活動場所	土曜日	日曜日	作業内容(予定)
6月	16(日)	懇談会	腹帯分館	8日 22日	2日	薪棚への搬入 玉切り・薪割り
7月	21(日)	懇談会	腹帯分館	13日 27日	7日	玉切り・薪割り 薪棚への搬入
8月		お休み		10日 24日	4日	玉切り・薪割り 薪棚への搬入
9月	15(日)	後期実施計画の具体化	腹帯分館・現地	14日 28日	1日	玉切り・薪割り 薪棚への搬入
10月	20(日)	入山・伐倒・玉伐り・搬出・薪割り	腹帯分館・現地	12日 26日	6日	薪棚の製作・整備 伐倒・玉伐り
11月	17(日)	安全な伐倒講習とチェーンソーの使い方	腹帯分館・現地	9日 23日	3日	伐倒・玉伐り他 伐倒
12月	15(日)	入山・伐倒・玉伐り・搬出・薪割り	腹帯分館・現地	14日 28日	1日	伐倒
1月		お休み		11日 25日	5日	伐倒
2月	16(日)	入山・伐倒・玉伐り・搬出・薪割り	腹帯分館・現地	8日 22日	2日	伐倒
3月	16(日)	入山・伐倒・玉伐り・搬出・薪割り	腹帯分館・現地	8日 22日	2日	伐倒 玉伐り・搬出

どんぐりの森自然観察会報告

- 日時 5月4日(土) 午前9時30分～12時
- 集合場所 腹帯集落センター
- 参加費 会員400円, 一般500円
- 参加人員 16名
- 主催 NPO法人 どんぐりの森
- 共催 NPO法人 川崎町の資源をいかす会



どんぐりの森は青根地区の手代塚山にある広大な自然林で、野生動物の成育が確認されています。そこには40年から60年にもなるコナラ・ミズナラ等の広葉樹が多く成育していました。

コナラ林は高齢化して大木になると、そこに甲虫カシノナガキクイムシが飛来して繁殖し、その媒介によって病原菌がナラ枯れを起こします。この森もその例外ではありませんでした。ナラ枯れが広がればどんぐりが少なくなり、野生動物の食料も無くなります。そこで、3年前から皆伐萌芽更新を実施したところ、これまで鬱蒼としていた雑木林に日が当たり、林床には山野草が芽吹き始めました。それに伴い昆虫や小動物が成育するようになりました。また、初年度に伐られた木の切り株では、新しく萌芽が始まっています。

皆伐萌芽更新は、地球環境問題の一つである生物多様性の保全に貢献することになります。5月4日の観察会では、新聞を見て参加された一般の方々と一緒にハイキングをし、山野草を楽しみながら森の自然の大切さを知ることができました。頂上手代塚山(標高570m)を目指し、樹木や山野草の名前を案内人のレクチャーを受けながら、全員で気持ちよい汗をかいて緑の風と光を浴びて楽しく散策することができました。

釜房ダム周辺の清掃活動の実施について(報告)

去る6月1日(土)釜房ダム湖周辺道路の清掃活動を、関係団体の協力を得て実施いたしました。参加者は28名で当会員のほか川崎町福祉協議会やボランティア及び公明党川崎支部ひまわりの会と株式会社パスク・熱海



建設株式会社の皆様でした。釜房ダムは、仙台市をはじめ名取市、多賀城市、七ヶ浜町、川崎町に水道水を供給しているダムです。川崎町の資源をいかす会では、その水源の保全の一環として各団体、企業等と協働してダム周辺の清掃活動を実施しています。当日は、開始直後は晴れていた天気も途中で雨になり、雨宿りしながらの活動となりました。

年々ゴミは減っているものの、空き缶、空き瓶、ペットボトルなどの飲料容器が多く捨てられ、タイヤや塩ビ管などの粗大ごみも散見されました。活動に参加された皆様、大変お疲れ様でした。雨の中ご協力本当にありがとうございました。

釜房ダム湖畔桜並木のツル切りと下草刈りの実施について

桜並木の景観を護るため、桜の木に絡みついたツル切りと下草刈りは8月初旬に実施します。

活動日 令和6年8月3日(土) 4日(土) 時間9:30～15:00 頃まで *一時参加でも構いません。

内容 釜房ダム湖畔の桜並木の桜に絡まったツル刈りと下草刈り。飲み物・ゴミ袋は主催者が準備します。

集合場所 釜房ダム湖の杜の公園ゴルフ場入り口向かいの駐車場

集合時間 午前9時30分集合(飲み物及び刈り払い機用の混合油は主催者が準備します。昼食、刈り払い機、鎌などは各自持参してください。)

締め切り 7月31日(水)

参加申込は事務局まで (電話またはメールでお願いします)

〒989-1501 川崎町大字前川字六方山3-225 電話0224-87-2270 eメール k-miyagi@mtc.biglobe.ne.jp

雁戸白炭 販売のご案内



笹谷地区は北蔵王連峰の東面山麓に位置し、往古からの奥羽山脈越えの峠（笹谷峠）道である笹谷街道の宿駅として栄えていました。

やがて、七ヶ宿街道や関山街道が峠道の役割を強めるようになり、笹谷地区は炭焼きに生活の活路を見出すようになりました。

雁戸山の硬い岩や豊富な雑木に恵まれ、炭の中でも良質な白炭をつくるのに最高の環境に恵まれていました。しかし、石化燃料への転換により、昭和30年代を最後に炭焼きの火は見られなくなりました。そして今、環境問題を契



機に、炭の持つ素晴らしさが再認識されるようになり、先人の知恵と技の素晴らしさを実感し、地区の長老とともに復興させたのが「雁戸の白炭窯」です。雑木林との共生、先人の知恵と技を次代に継承するべく努力を続けております。

以前は笹谷地区に白炭窯を作り炭焼きをしていましたが、平成29年に現在の川崎インターチェンジのそばに移築して活動しています。

（白炭の特徴）

白炭とは、築窯製炭法および窯外消火法のみにより製造した木炭をいいます。日本農林規格に定められております。

黒炭とは、白炭以外の木炭で、火つきは良いのですが、白炭と比べると長持ちしません。白炭は燃料として火は点きにくいですが、いったん火が点くと長持ちします。遠赤外線により、火のとおりがよい。という特徴があります。燃料以外の用途としては鮮度保持用木炭、飲料水用木炭、炊飯用木炭、風呂用木炭、寝具用木炭、消臭用木炭、床下調湿用木炭として使われます。

高温で焼かれた「白炭」は電気伝導性がよく、マイクロン単位の穴が無数にあります。この穴のために分極することなく電子が受け渡されて電流の流れを作り、またこの穴のために、においや不純物を吸着します。

事務局にて販売中です。是非ご利用ください。

販売価格（1袋 15kg） 4,500円 （連絡先 0224-87-2270 宮城）

（事務局より）

やっと、コロナウイルスが5類となり、元の生活に戻ってきたとは言え、以前のような感じにならないのは私だけでしょうか？イベントを行っても中々人は集まらず、もしかしたら、当会の運営に問題があるのかと思ってしまいます。この会は会員の皆様の声を聴いて、自分たちでいろいろ計画して運営していましたが、大勢が集まることがなくどうしても事務局主導型になっているような気がしています。

今年度は役員改選時で、多少若返りしました。新しい事業も徐々に増えていくと思われま

みんな楽しんでながら、今後も健康で活動が続けていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

事務局 宮城加代子